

Link!

創刊号

Hot Topic! 国際交流フェア 2014

平成 26 年 5 月 10・11 日につくばフェスティバル 2014 がつくばセンター広場を会場に開催され、つくば市国際交流協会は、同会場で国際交流フェアを同時開催いたしました。

国際交流フェアは、国際協力や国際交流の体験を来場者に提供し、同時に、出展者と来場者のコミュニケーションをとることで、双方に国際交流の楽しさややりがいの芽を育てていただくことを第一の目標にしています。

参加していただいた団体には、各ブースでのワールドワイドで彩り鮮やかな食品や物品の販売、特設ステージでのダンスや音楽を通じた文化紹介に協力いただきました。参加団体の国は、13 ヶ国あり、その他に、外国人学校が 3 校参加しました。

お昼時には、普段あまり口にしないお料理のブースに行列ができていた様子がみられました。

また、ステージ発表にも多くの家族連れのみなさまに鑑賞いただきました。私たちが目にし、耳にしたことの中で印象に残っていることがたくさんあります。例えば、ステージで観客の子どもたちが外国のダンスと一緒に踊る姿が見られたことや、来場者から「以前住んでいた外国のブースがあり、出展者と現地語でコミュニケーションをとることができたことがうれしかった!」と声をかけてもらったことなどです。

次回も、より来場者に楽しんでもらい、またコミュニケーションにあふれたフェアになるよう、努力してきたいと思います。

	参加団体	参加国
ブース	23 団体 (2)	韓国・モンゴル・インド・インドネシア・タイ・エジプト・パキスタン・ロシア・フランス・イギリス・ブラジル・アルゼンチン
ステージ	9 団体 (3)	韓国・モンゴル・インド・インドネシア・カザフスタン・ブラジル

() 内は外国人学校

Contents — もくじ —

- P1 **Hot Topic!** 「国際交流フェア 2014」
- P2 **Compass** 「つくば市国際交流協会の目指す方向」
- P3 **ZoomUp!** 「日本語講座」「日本語カフェ」
- P4 **ZoomUp!** 「国際交流のための料理教室」「つくば英語観光ガイド養成講座」
- P5 ~ 7
インタビュー企画「種まく人」
 - 風の会代表 吉田麻子氏
 - KOREA 文化交流協会代表 キムヨンヒ氏
 - ウアマンヘンリー氏
- P8 Reports & Notice Board





COMPASS

つくば市国際交流協会の目指す方向

つくば市国際交流協会理事長

小玉 喜三郎



1942年生まれ、東京都出身。
2007年4月(独)産業技術総合研究所特別顧問・
リサーチャー。
筑波研究学園都市交流協議会筑協委員会顧問。

Ⅰ自分を形作る「国際経験」

研究者として働いていた当時は、国際組織などに関わって多様な国の人たちと付き合い、それぞれの国や地域レベルの基本的な思考方法の違いについて、非常に興味深く思っていました。

例えば、基本的に鳥瞰的にものごとをみる欧州人、考え方がボトムアップで現実的なアジア人といった具合です。ただ一概にそうとは言えず、韓国やインドの人は、アジアの中でも物事の枠組みをつくるのが非常にうまいと感じていました。

そういった人と触れ合ってきた経験が、仕事の仕方やマネージングという面で私自身を形作っています。ストラクチャー、ビジョン、戦略といったことが苦手な人もいます。ですが、私は全体を見ていくということも必要であると思います。現実とビジョンを両輪で考えて、ビジョンにあうように進んでいけば、間違ふことや方向を変えることを恐れずにいることができると思います。

Ⅱつくばにいる外国人のサポートをどう考えるか

非常に広範な概念を含む「多文化共生」というものを取り扱うに当たって、「つくばの多文化共生の核とはなにか？」ということを意識しています。

つくばにいる外国人には、まず最低限なにが必要なのか、生活していくためのサポートという点では、当協会の医療通訳ボランティア派遣や外国人のための生活相談は核になるサービスです。

その上で日本語を学ぶという日本語教室があり、その先に日本の文化を知るといった交流の部分がでく

ると思います。

国際交流という点では、「日本人と外国人」というものの見方ではなく、「地縁」を意識して、「同じところにせっかくすんでいるんだからそれを楽しもうよ!」という考え方を大切にしたいと思います。

私自身も、もともとつくばの人間ではないですし、その土地土地の特徴を共有することがよいと思います。つくばの地縁の核になるものがなんであるか考える必要もありますね。

Ⅲ私の使命

つくば市国際交流協会の理事長としての願いは、もっとこの協会を知ってもらいたいということです。その努力がなにより今必要です。

つくばで実際に国際交流をしている人、機関は数多いですから、その人たちを知り、情報を交換したいです。外国の人たちも日本の中で様々活動し、コミュニティをつくっています。そういった人たちも当然含まれます。

その上で、みんなで同じことをするのではなく、ネットワーク化することでそれぞれの活動が豊かになればと思います。

理事長として、いろいろなところへ話を聞きに試してみたいと思いますし、そういった役割を演じるのは、私たちしかいないと思います。

私たちが知ったことを発信することで、お互い同士が知るようになります。ネットワークのネットワーク化が協会の大きな役割です。触媒のようなものです。その活動は非常に創造的であると思いますので、いろいろな人に参加、協力してもらいたいですね。

事業報告① ZOOM UP! 日本語講座

2014年4月～9月にかけて、つくばカピオでは第44期、つくばサイエンス・インフォメーションセンターでは第10期が開催されました。にほんご1（初めて日本語を学ぶクラス）からにほんご2、3、4、日本語の会（日本語検定N4級程度）、読み書きクラスまで合計6クラスがおよそ半年間にわたって実施されました。この半年間で受講者115名に対して、ボランティア講師（TIVONAの会）は23名にご活動いただきました。

3年前の3.11の震災で多くの受講者が帰国し2年間は少ない状況が続きましたが、昨年からは徐々に受講生が戻ってきて、ここ最近では再び定員を超えてしまうクラスもでてきました。

ひとえに、講師ボランティアとして活動されている「TIVONAの会」の先生方が、受講生のために様々な工夫をこらし、楽しい環境づくりをして

いただいているおかげと感謝しています。

講座の70%以上の出席で授与される修了証を受け取ったのは、受講生115名のうち29%にあたる34名、皆勤賞は2名でした。表彰式の後、クラス毎に写真を撮ったり、先生と話をしていたりととても楽しそうにしていました。

また、最近では、にほんご1と日本語の会のクラスに多くの募集があり、キャンセル待ちになる傾向にあります。どのようにしたら希望者全員を受け入れられるのか、また教科書を変更するのかなど検討を重ねています。



先生方が毎回丁寧に授業の準備をし、楽しい授業がおこなわれています。



事業報告② ZOOM UP! 日本語カフェ

日本語をまなぶ外国人のみなさんが、実際にまなんだ日本語をつかう機会をつくろう、日本のことにもっと興味をもってもらう、という目的で月1回程度開催しています。

日本の文化や四季にふれながら、楽しんでもらえるようふんだんにレクリエーション要素をいれ、毎月ワイワイと楽しんでいます。

4月 おりがみ（12日 T S I C※）

外国人に人気のある「おりがみ」。みんなで夢中になって折り紙をおりました。

5月 つくばの暮らしQ&A（10日 T S I C）

つくばビギナーの外国人のかたに、つくばでの生活のレクチャーをおこないました。

6月 ボードゲームであそぼう！

（12日 T S I C）

日本のボードゲーム（将棋やオセロなど）をルールを学びながら体験しました。

7・8月 高校進学なんでも相談！

（7月26日、8月9日 筑波学院大学）

お子さんの高校進学に悩みや不安のある外国人の保護者のみなさまに、高校の先生や先輩外国人保護者とコミュニケーションをとることができる機会を設けました。

.....

9月 月見でゲーム&おしゃべり！

（12日 つくば中央公園）

秋のこころよい空気のなか、ゲームやクイズを楽しみ、月見団子をたべながらおしゃべりをしました。



4月12日 おりがみ



6月12日 ボードゲーム



9月12日 お月見

事業報告③ ZOOM UP! 国際交流のための 料理教室

平成 26 年上期は、6 月 28 日に南米パラグアイ料理、8 月 23 日にドイツ料理教室を市内交流センターで実施しました。両教室とも満員の参加者が集まり、わいわいとした雰囲気ができました。

パラグアイ料理教室には、パラグアイ出身の岩崎マリさんをお招きし、8 月のドイツ料理教室は、ドイツ在住 18 年の来田エッサー聡子さんを講師にお招きしました。

毎回、参加者の方々の笑顔が印象的な教室です。これからも普段の生活では出会えない食文化、そしてお国事情などに触れる機会を提供していきます。

ドイツ料理教室講師 来田先生からのメッセージ

ドイツに住んでいらした方、ドイツに興味や感心のある参加者の方が多く、主人共々大変嬉しく思いました。料理をとおして、ドイツがさらに皆さんの身近な国になっていましたら光栄です。ありがとうございました。



普段あまりなじみのない南米料理ですが、お家でも簡単にトライできるレシピを岩崎さんに教えてもらいました。



パラグアイ料理メニュー

- ブチエロ（牛肉の煮込みスープ）
- エンパナーダ（ひき肉の揚げ物）
- アルファホール（クッキー）



ドイツ料理メニュー

- グーラッシュスープ
- シュベツツレ（ドイツ風パスタ）
- ラズベリーとクリームのデザート



ドイツ料理では、日本人にはなじみのうすい「シュベツツレ」という手作りパスタにチャレンジ。ゆるめに作った生地を丸い穴の開いた器具の上にのせ、へらをつかってお湯の中におしだします。

●●●参加者の声●●●

使う香辛料や材料によって、それぞれのお国柄がみられ、大変興味深い料理体験をさせていただいております。つくば市ならではの楽しい料理教室だと思います。

事業報告④ ZOOM UP! つくば英語観光ガイド 養成講座

外国の方々に、「つくばの魅力」や「つくばの情報」を英語で伝えることができるタウンガイドボランティアを養成する講座を今年度スタートさせました。8 月から 10 月まで月 2 回ずつ、全 6 回の講座です。

受講生公募と同時に、こちらの予想をはるかに超える応募をいただき、ほぼ 1 日で満員となりました。つくば周辺に住む皆さまのボランティア精神の高さを感じました。

講義の内容は、工夫と刺激に満ちています。参加者同士のロールプレイにはじまり、観光ガイドをボランティアで実施している「つくば観光ガイド 298」の方をゲストに招いての同時通訳演習など、多くの演習を含みます。

一般の外国人の方々をロールプレイのゲストとして招いたときには、生徒は事前に知らされ

外国の方々に、「つくばの魅力」や「つくばの情報」を英語で伝えることができる

ていなかったため、新鮮な気持ちで講義に取り組むことができました。

これからつくば英語観光ガイドと一緒に、つくばの観光を盛り上げていきたいと思ひます！

講師 上堂 蘭 アンドリア氏

受講生全員が毎回懸命にコミュニケーションを取ろうとしました。彼らは、ゲストの手助けが出来るガイドになる、と確信しています。

様々な国のの人々と、真心をもって話すことが出来るガイドを育成できるよう願っています。

ネイティブスピーカーに向けた英語だけでなく、英語で世界的なコミュニケーションをはかることが、2020 年オリンピックやつくば市の未来に大切になると思ひます。



外国人ゲストとガイド演習



課外学習もおこないました



種まく人 ～Seedfolks～

風の会代表 吉田麻子さん

「風の会」は、つくば市吾妻小中学校を中心に、学校に通う日本語が苦手な子どもたちの日本語学習支援をおこなっています。現代表で、当協会の理事もつとめる吉田麻子さんにお話をうかがいました。

風の会の活動

風の会は 1985 年に設立されたボランティアグループです。学習支援のほかにも、オリジナルの教材作りや地域のお祭りへの出店・リサイクルバザーの主催など幅広く活動しています。現在会員は、50 名程度で、日本語補習のボランティアをしてくれる人は 20 名くらいです。日本語補習は、学校の日本語担当の先生のお手伝いをしていますが、吾妻小以外の学校に外国にルーツを持つ子どもが来た場合にもアドバイスをしに行ったり、補習のお手伝いに行ったりすることがあります。

風の会のオリジナル教材作成については、子どもの日本語教材というものが、風の会が設立された当時はなかったことからスタートした活動です。

最初は全くのオリジナル教材でしたが、その後外部の参考文献に手を加えた教材で来たばかりの子どもに使う「こどものための日本語」や、文字の学習とともに身近なものの語彙をふやしてあげることを目的にした「ひらがな練習帳」というものも作りました。テキストのデザイン面などには会員の娘さんに手伝ってもらったこともあります。

吾妻まつりでは、ここ数年チャンピン(中国風おやき)を作って、販売しています。ありがたいことに毎回あっという間に完売しています。今までには手作りキムチや外国の人に習ったその料理を販売していたこともあります。

リサイクルバザーも長く続いた活動で、たくさんのものが集まり、地域に根付いている感があります。

外国人児童のサポートに必要なと思うこと

外国人児童のサポートにおいては、子どもの保護者、特にお母さんの気持ちの安定が重要で、そのためには子どもたちの家族がどれだけ周りの人たちとのかかわりを持っているかも大切です。直接お母さんたちと話をすることはなかなか作れませんが、同じ地域で子育てをしている者として子どもたちに接しています。



会員同士の勉強会の様子

「あの子のことが気になる！」という気持ちが重要で、風の会にはそういった気持ちをもった人が多いように思います。そこがいいところです。それぞれの生活があり、一人の人間ができることは限られていますが、細く長く、できることを継続していきたいと思っています。

活動のよろこび

活動を続ける中で、子どもから小さな発見があったり、笑顔にしてもらったりということはずっと存在し続けています。

また、吾妻小中に関わった先生が転勤先で、吾妻での経験を活かして外国人児童のサポートについてただ「困った！」ではなく「あれをやろう！」と何か具体的にされていて、風の会の活動が別の形で花開くようで非常にうれしく思います。

風の会のこれから

今は、会員の減少と、平均年齢が高くなってきていることが課題です。

外国人生徒の数は横ばいですが、これからはスーパーグローバル大学に筑波大学が認定され、留学生の人が間違いなく増えることを考えると、吾妻小中学校にも影響がでてくると思います。

子どもが小中学校に在籍している若い親の立場の人たちに会へ入ってもらうにはどうしたらよいのか、アイデアがほしいです。

研究学園都市は、T×がとおり、官舎がなくなり・・・と街が変わってきています。風の会も次の世代に渡していきたいと思っています。



吾妻まつりでのチャンピン販売



種まく人 ～Seedfolks～

KOREA 文化交流協会代表 キムヨンヒさん

「日本と韓国なかよし応援団」をスローガンに平成26年8月に設立された KOREA 文化交流協会さん。代表のキムヨンヒさんに、会の活動やキムさん自身のこの活動への思いについてうかがいました。

KOREA 文化交流協会とは

会の活動は、国籍、政治、宗教、思想を超え、文化交流によってお互いの理解を深める活動を心がけています。大きく分けて、交流部・イベント部・教育部の3つの活動になります。

交流部は、韓流同好会や、韓国語カフェを開いたり、5月の国際交流フェスティバル、8月のまつりつくば、11月のフットサルに韓国料理のお店を出したり、伝統楽器や K-POP ダンスのステージ公演をするなど、他の団体や日本の方たちとの交流の機会をつくっています。

イベント部では「KOREA まつり」というイベントを開催します。一昨年11月につくば市ふれあいプラザで初めて実施し、好評でした。これは2年に1回程度実施したいと考えています。

教育部では、韓国語教室、KOREA 伝統舞踊教室、KOREA 文化セミナー、つくば市国際交流協会主催の韓国料理教室などをおこなっています。

国際交流と私

国際交流について活動するようになったきっかけは、つくば市にいたたくさんの韓国人に日本の文化に積極的に触れて欲しい、また日本の方たちに韓国の文化に触れる場をたくさん作っていきたい、という気持ちがあったことです。そういった交流が活発になり、日韓の理解が深まればいいな、とも考えていました。そのために、まずはみんなに共通のこと、共通のものを一緒に楽しむことができるようにしたいです。

その一環として開催した KOREA まつりでは、たくさんの日本の方たちに応援してもらいました。感謝の気持ちでいっぱいです。

私は韓国人であり、つくば市民でもあるので、つくば市のために何か役に立ちたいという気持ちでいます。国際交流活動を通して、つくば市が国際都市として発

展するためのお手伝いが少しでもできればと思っています。

これからの KOREA 文化交流協会

一昨年の KOREA まつりで、「沈清伝」という韓国のものがたりを絵本として日英韓併記で出版し、つくば市の中央図書館と市内の各小学校に寄贈しました。この物語を子どもたちが読んで、多文化を理解し、また、共通の価値観を感じることをとおして絆を深めてもらいたいと思いました。

共感が生まれれば絆はどんどん深くなります。その共感、相手を理解すると同時に、自分の国を愛することにもつながると思っています。また機会があれば、他の物語の翻訳もしてみたいと思っています。

そのほかにも、日韓お茶の会、日韓コーラス団、韓国式美容セミナー、韓国式産後ケア、伝統楽器講座、韓国の手芸など様々な事業を計画していますが、初心を忘れずがんばっていきたいです。



KOREAまつりにはたくさんの来場者があつまりました。



平成26年11月のつくばワールドフットサルに出展し、チジミとトッポギが好評でした。



種まく人 ~Seedfolks~

ウアマン・ヘンリーさん

南米ペルーから日本にいらして、つくば市国際交流協会
で様々なボランティアにご協力いただいているウアマン・ヘンリーさん。そんなヘンリーさんに母国、日本そしてつくばについて語っていただきました。

なぜ日本へ

ペルーの首都リマの大学で医学を学び、内科医として卒業し、31歳のときに日本へやってきました。医師は小学生のころからの憧れで、その当時は小児科や精神神経科に興味がありました。

妻が日系3世で日本に移り住む夢がありました。私にとって日本は14才くらいまでやっていた柔道とおおしのイメージしかなくなじみがありませんでした。ですが、ペルー人は家族を大事にします。アメリカで医師になるステップをあがっている途中でしたが、家族で日本にやってきました。

ペルー

ペルーにはすばらしい歴史や遺跡があり、過去の文化や古いものを大事にしています。観光をしても楽しいですし、料理もおいしいです。

ペルー料理で好きなものは、セビーチェです。生の魚貝とポテトやとうもろこしなどをレモン、にんにく、塩で味付けしたものです。ペルーの海は海流の関係でとてもおいしい海産物があります。

日本

家族で全国各地をよく旅行しています。富士山で山小屋に泊まってご来光をみたこともあります。

日本は、全国である程度の文化的バックグラウンドを共有していると思います。ペルーは地域で文明や歴史がことなるため、今でも地域による違いを強く感じます。

日本人の他人に対する気遣いについて、私はペルー人と

の違いに驚くとともに、日本人のそういったところが大好きです。交通マナーなど、決まりやルールを守ることそうです。

つくばと私

初めは別のところに住んでいましたが、つくばには遊びにきていました。つくばは新しく、優しい町で気に入りました。つくばには平成18年から住み始めました。

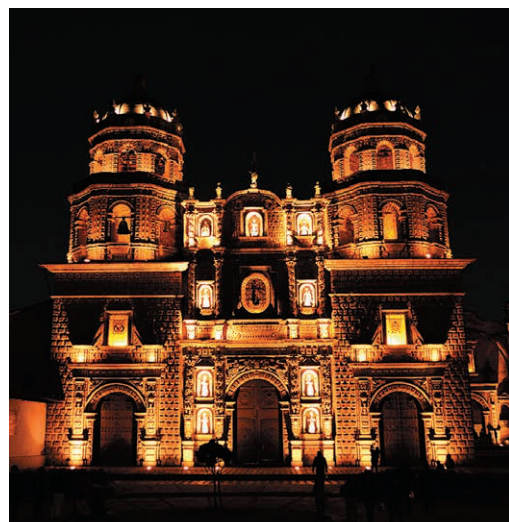
仕事をつくばで持っていますが、今でも日本で医師になるための勉強や準備を続けています。

つくばは東京でも田舎でもなく、ちょうどいいバランスがとれていると思います。これからもこのバランスを保ってもらいたいと思います。

また同時に国際的であってほしいです。私は、いろいろな文化の人、アイディア、料理などを知りたいと思っています。つくばにはいろいろな人にであい、異なる言葉を聴くことができます。子どもにとってもいい環境だと感じます。



チムー王国時代の「チャンチャン遺跡」
(トルヒーヨ市)



17世紀の建造物「サンフランシスコ協会」
(カハマルカ市)

Reports

日本語講師養成講座

(7月5日～19日の期間で全5回講座)

当協会の日本語講座の講師になってくれる人のための講座です。16名の参加者のうち、5名の方が後期講座に先生として参加してくれることになりました。

外国語講座

(春季：5月～7月全10回、秋季：9月～11月全10回)

スペイン語(入門・初級)、中国語(入門・中級)の計4講座を実施しました。毎回多くの受講者が集まります。先生方の教室の雰囲気作りや指導が人気の秘訣です。

つくば市外国人のための相談室

つくば市に住む、学ぶ、働いている外国人を対象に婚姻・労働・在留資格等に関するアドバイスを相談員がおこなっています。平成26年4月～9月でのべ34件の相談がありました。

【相談専用電話番号：029-868-7700】

毎週水曜日が中国語、木曜日が英語で、相談時間は9時から12時までです。

各種ボランティア

以下のカテゴリーに分かれて、当協会に登録していただいている会員の皆さまが活躍しています。

4月～9月実績

通訳・翻訳	5件のべ23人
ホームステイ	2件対応ホストファミリー4世帯
日本語講師	6クラス115名の生徒に対して23講師
医療通訳	3病院から8件依頼 英語6件 中国語2件



まつりつくばに英語と中国語の通訳を派遣



スペイン語講座の様子

Notice Board

つくば市国際交流協会 会員募集！

会員とは、当協会の事業をさまざまな角度から支援いただく皆さまの総称です。

①**ボランティア**…会員の知識や経験を生かしていただきます。

- 通訳・翻訳 ●文化紹介 ●ホームステイ
- 日本語講師 ●医療通訳

②**サポーター**…事業の運営補助

③**賛助会**…資金面での援助(各年4月～翌年3月まで)協会の活動の趣旨にご賛同いただけるみなさまからのご支援を募っております。

賛助会費

個人：1口2000円／年 団体：1口10,000円／年

法人：1口20,000円／年

平成26年度賛助団体及び法人(平成26年12月31日現在)(敬称略)

常陸興業株式会社、TIVONA の会、ホテル松島、医療法人 健佑会、株式会社 相澤建築設計事務所、株式会社 関彰商事

※会員登録に関する詳しいご案内は、当協会HPをご覧ください。

にほんごであそぼう！

日本語を勉強している外国人を対象とした、クイズやゲームを通して気軽に楽しみながら日本語とふれあえるイベントです。日本語のレベルに関係なく誰でも参加できます！

【日時】

3月15日(日) 午前10時～午後4時

【場所】

つくばサイエンス・インフォメーションセンター(ノバホール隣)

【内容】

1部：10時～12時

ウォームアップ(楽しいイベント)、国際青少年会議(中高生)(観覧)

2部：13時～16時

日本・世界文化体験など(体験)、大人会議(観覧)



昨年の様子。さまざまな文化体験をしていただきました。

